



水下 薫さん
農 業



佐藤登美子さん
平成10年度海外派遣参加者



栗城 春夫
河東町長

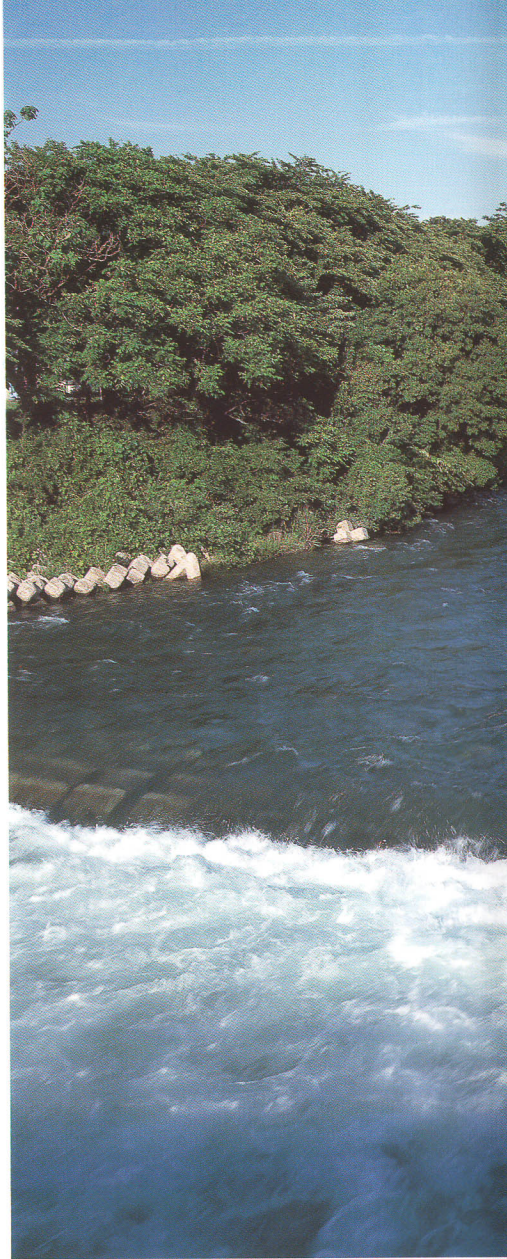


田辺 裕文さん
大河塾代表

るが広がって行かない。明らかに宣伝不足の感があります。水 downstream がいわれたように、河東の米でも全国に通用する米が出来るといわれています。こうした条件を活かしきれない。時には「こうやってるんだ」というパフォーマンスも必要だと思います。

司会 では河東がアピールしていく資源、特産品など、どんなものがあるのでしょか。

水 downstream 河東は国道四九号・一・二号線が交差しており、会津の高野山八葉寺などは、どんどんPRしていけば全国から人が集ってもおかしくない



い所だと思いません。特産品としては、おいしい米があります。私は、現在あるものの可能性を伸ばしていけばいいと思います。

川口 福祉の町づくりをする有為な人材づくりを考えています。

美しい景色、歴史とロマン
豊かな水が育むおいしい米

田辺 大河塾では源義経の初恋の人、皆鶴姫を知ってもらうために全国にPRをしました。最初は皆鶴姫は本当に、河東町の伝説の人だったと思っていたら、江戸時代の浮世絵や歌舞伎の演目として皆鶴姫が出ており、メジャーな方ですから、どんどんPRして河東町の皆鶴姫として全国に発信して行かなくてはいいけないと思います。

佐藤 私も歴史や文化というのには大事にしなくてはいいないと思います。特に空也念仏踊は大変誇れるものだと思います。また、鍋沼の桜を見たら全く観光化されておらず、ここは本当に誇れる場所だと思います。

石井 河東は伝説や史跡の話が以外と沢山ある町なんです。大人も子どもも、もう一度町内にある文化財を見直して新しい方向を探ることが大切だと思います。これからの社会は、国際化・情報化するわけですが、『河東の史跡と文

化財』などをパソコンでデジタル化してホームページを作って会津や全国に発信できると考えてます。中学生達にも、先生方にも自分の学校でやって頂き、さまざまな話題を発信できればいいと思います。また高齢化対策の一つとして、パソコンはほけ防止になると思います。子ども達と高齢者のつながりが出来れば面白いのではないのでしょうか。

コンピュータ利用で
情報発信！

町長 町をよくする方法は沢山あると思います。そのアイデアを活かしていくのが、行政です。私はそれを学校教育国際化システムという英会話教育に求めたわけです。今、町の中で誇れるもの、それを英語にしていって、コンピュータを使ってお互いにやり取りできる環境づくりをしていく。最初は子どもの方が学んで早いわけです。つまり子どもに自由に使ってもらえるような、ソフトづくりから地道にやって行きたいと思えます。その結果として「河東は、英語をふんだんに使っているよ」となるわけです。これが町全体まで広まれば、町おこしになると思います。この英語の中には、皆鶴姫も出て来るし福祉の話も出てきます。これらの情報伝達というのは、コンピュータが一番だと思

次のページへ続く